

教職員・院生版生協だより

かけはし

No. 251

2004年 1・2月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111

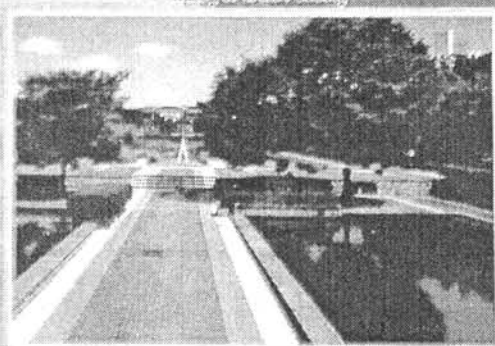


地下鉄4号線新車両

名古屋大学駅構内の Back up Campus Life の看板

勇気ある知識人の育成を目指します

 **名古屋大学**
Nagoya University



Back up Campus Life  名古屋大学消費生活協同組合

念願の地下鉄が名古屋大学にやってきた

名大生協のホームページ (URL) <http://www.coop.nagoya-u.ac.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

も く じ

新年を迎えて(若尾裕司名古屋大学生協理事長)	3
主張《今求められているのは、暴力の連鎖を断ち切ること!》	4
【企画】	
初心・初級スキー教室のご案内	6
笠木透とともに過ごす平和憲章の夕べ	7
【報告】	
安曇野ちひろ美術館訪問ツアー報告その2	
民宿でそば打ち体験記	8
COOP細江みかん産地見学記	10
地下鉄開通記念北部生協まつり・教職員委員会企画報告	12
第16回音としゃべりの金曜サロン	
「初冬のホット・ジャズ・コンサート」の感想	13
教職員委員会の活動日誌	23
【記事】	
新フィールドノート—その80—「稚内」	14
私の百名山「トムラウシ山—その2—」	16
ニュースに一喝	
「なんで自衛隊なのか」「ツメで拾って箕でこぼす」	22
魔言「イルミネーション」「時差」	24
アンケート・クイズ解答用紙	26
かけはしの輪	27
CO-OP QUIZ <Logic>	裏表紙



地下鉄4号線新車両

名古屋大学駅構内の
Back up Campus Life
の看板



念願の地下鉄が名古屋大学にやってきた

表紙の「1」は
12月13日、地下鉄4号線(名城線)が砂田橋から名古屋大学まで延長開業になり、念願の地下鉄がやっと名古屋大学まで開通した。来年度には新瑞橋まで延長し日本で初めての地下鉄環状線が誕生する。この開業によって人の流れが大きく変わることが予測される。本山から名大まで歩いて通学していた人は地下鉄を利用するようになり、四谷通り界隈の商店も利用が減ることであろう。大学には自転車で行き交う子供たちが目立つようになつた。これも地下鉄開通によるものである。当生協としても組合員の流れの変化によつて利用の減少が予測される。大きなお店を構えてきたがこれからは組合員の動向にあつた便利な小さなお店も重視しなくては行けない。(みのうら)

新年を迎えて

名古屋大学生協理事長

若尾

祐司

バブル崩壊後、もう十年以上も続く不況風の中、景気回復への兆しを期待したい2004年です。

長年の懸案であった地下鉄「名古屋大学」駅が、昨



年末に開通したことは明るい話題の一つでした。国立大学の独立法人化を4月に控え、交通の便が飛躍的に改善されたことは、名古屋大学にとって大きな意味をもつと思われ

て、これまでにない憩いの場になると期待されます。さて、名古屋大学キャンパスでは、東山でも鶴舞でも全面的な施設改善が進んでいます。これに対して、生協食堂などキャンパスの基盤的な福利厚生施設に、大きな立ち遅れがある事実は否めません。とくに理系食堂・購買の施設改善は、耐震対策を含めて緊急の課題となっています。安全で安心できる快適なキャンパス生活を目指し、大学の基本的な施設計画に福利厚生関連を含める

ことが求められています。大学の正課外の教育事業である福利厚生事業の担い手として、「名古屋大学法人」のパートナーとして果たすべき名古屋大学生協の役割は、今後ますます重要性を増していきま

す。大学法人化の波の中で、揺るぎない名古屋大学生協の歩みを示すことができるよう、組合員の皆様方の変わらぬご支援を、年頭に当たり心よりお願いいたします。

主張

新たな暴力連鎖を 生んだイラク戦争

ミレニアムからはや4年、人類の希望は「戦争の世紀から相互理解と平和の世紀へ」であるにもかかわらず、テロ撲滅を口実とするアフガン空爆、大量破壊兵器を口実としたイラク戦争は新たな暴力の連鎖を生み、サミュエル・ハンチントンが警告した「文明の衝突」へとエスカレートしている。泥沼化したところある西アジア中近東地域で、暴力の連鎖を断ち切るために、私たちはなにをなすべきなのだろうか。

わが国は平和憲法を持つ 「平和主義」国家である

「個人の争いを暴力によって解決してはならない」ことは、どの国でも「いけないこと」だと子供達に教えているであろう。国と国との関係も同じである。これは、人類が長い時間をかけて獲得した英知である。そして、これ

こそが人類が将来にわたって繁栄するための最も基本的な原則であることを、誰も否定しないであろう。

わが国は、国と国との争いにおいても武力に頼るのではなく話し合いで解決することを「憲法」という形で、世界で始めて宣言した「平和主義」国家である。人類の理想を明文化した我が国は、平和憲法を制定したが故に、世界中に「平和の国」という名声と榮譽を得たのである。

戦争に負担する教育・研究はしないとする名古屋 大学平和憲章を宣言した

17年前、名古屋大学全構成員（学生、院生、教職員、生協職員）の過半数賛同署名を得て制定された名古屋大学平和憲章は、日本国憲法と教育基本法の理念を名古屋大学の教育・研究に適用したものであり、戦争に負担する教育や研究をしないという極めて当たり前のことを宣言したにすぎない。それにも関わらず、私たちの平和憲章に様々な反応があったことを思い出そう。

ユネスコ事務局は、人類の理想と希望が述べられた宣言を大

学の総意で行ったことへの賛同と賞賛のメッセージを、私たちに寄せてくれた。多くの市民からは「戦争に与しないとの宣言は立派！」、「私たち名古屋市民の誇り！」という賞賛や励ましが相次いだ。これとは反対に、文部省官僚など政府関係者からは大いに不評を買ったというのだが・・・。

名古屋大学生協理事会は平和憲章制定当事者の一員である。平和憲章に署名した者として、私たちにできることは、自分の目で見、自分の頭で考え、政府の都合の良いことしか報道しないマスコミ情報をかきわけ、何が本当なのかを見抜くこと。そして、それを市民に知らせることであろう。

米国一國主義を

後押しする小泉政権

2003年3月、イラク戦争反対の国際世論は1000万人のデモとなつて、地球を一周した。9・11の背後にあるものを冷静に見つめる米国民の見識や、サダム・フセインがどんなに悪逆非道であつてもその国の指導者を決めるのはその国の人々

**憲法違反の自衛隊「イラク派兵」は、
世界の混乱に拍車をかけるだけ**

であると、主要都市の中心街を埋め尽くしたフランスやドイツの市民。「外国からの干渉は許されぬ」とイラク戦争反対デモに加わったイギリス・ロンドン市民。平和の文字の旗印が延々と続いたイタリア・フィレンツェ、安保理事会で米国の陰陽の圧力を跳ね返して不同意の意思表示を貫き通した非同盟諸国。

今求められているのは、 暴力の連鎖を断ち切ること！

小泉政権は国連主義というが、実際には米国一國主義を後押ししているに過ぎない。もし国連主義というならば、国連の圧倒的多数の国々は「イラク戦争反対」であり、国連自身も「イラク戦争」を肯定しなかった。

戦闘終了後も住民を脅かし続けている新型兵器

それでもなおイラク戦争を開始した米英。そして今日、米国の

一國主義は目を覆うばかりの惨状を、地上にもたらしている。

テロ勢力一掃を掲げたアフガン攻撃、ありもしない大量破壊兵器を口実としたイラク戦争、パレスチナのダブルスタンダード・米軍のテロ勢力掃討作戦は多数の民間人を殺戮し、劣化ウラン弾やデイジーカッターと呼ばれる兵器は戦闘終了後も住民を傷つけ脅かし続けている。住民の権利を無視した復興事業は住民の怒りを買ひ、暴力の連鎖は雪だるまのように巨大化している。

自衛隊のイラク派兵は 国家的な信頼を失う 歴史的決定だ

このような時に、わが国の小泉政権は米国の求めに応じ「イラク派兵」を決定した。

平和憲法の日本が、外国に「自衛隊」を派遣するというのだ。そもそもわが国に「自衛隊」という軍隊が存在すること事態「憲法違反」なのだが、政府は自衛の軍隊だと言いつつ続けた。当然の事ながら、国内世論は「自衛隊」が海外の戦地に立つことを厳し

く拒否してきた。歴代政府の見解を逸脱し、国内世論にも反した「自衛隊イラク派遣」決定は、世界中に大きな波紋となつて広がっている。

これは、日本が世界に約束したことと明白に違反する行為であり、国家的な信頼を失う歴史的決定なのだ。そして、この決定は世界に大きな失望と落胆を広げている。イラク戦争のデモに加わった1000万人の市民や圧倒的多数の非同盟諸国の指導者達はこの決定をどう受け止めたであろうか。

この決定は、かつて日本が犯した過ちを再び引き起こすのではないかという恐れを、東アジア諸国に抱かせている。

残念ながら、孤立し、窮地に陥っているのは日本自身である。米国のご機嫌取りに熱心のあまり、大儀を失ひ、国を滅ぼす道を、小泉政権は歩もうとしているのだ。

外国の軍隊がいる限り、 ゲリラ攻撃は止まない

サダム・フセインが逮捕されようと、イラクが戦争状態であ

ることに変わりはない。イラク人民にとつて、米国は侵略者であり、米軍は占領軍である。外国の軍隊がいる限り、ゲリラ攻撃は止まないであろう。

自衛隊がイラクに入れば攻撃対象となり、犠牲者も出る。ゲリラ戦に慣れない自衛隊の反撃は無実のイラク民間人を殺す羽目に陥ることであろう。

NGOなどの人道支援活動を行っている現地の日本人関係者から悲痛な叫びが届いている。「自衛隊が派遣されたら、私たちまで敵として狙われる！」と。

暴力の連鎖を断ち切る 国際世論を喚起すること

今、日本がなすべき事は、米國に追隨することではなく、その非を論じ、暴力の連鎖を断ち切る国際世論を喚起することではないのか。それが米國の将来にとつても良いことであるのは明白だ。眞の友人とは、友人が犯した過ちに追隨することではなく、その非を説いて、改めさせることにあると思う。こうした方向にこそ、人類と日本の未来があると確信する。

初心・初級

スキー教室のご案内

—冬だ！スキーだ！滑り隊！—

スキーをはじめたい人、お子さんにスキーを教えたい人、少し上の技術を身につけたい人大集合。親切丁寧なコーチ陣があなたを手とり足とり教えます。

日 程：2004年2月20日（金）夜発～22日（日）

行き先：岐阜県郡上郡高鷲村のスキー場

集合場所：名古屋大学豊田講堂前

集合時間：7時00分

参加費：15,000円

10,000円（小学生）

レンタル：板、靴、ウエアは実費

定 員：10名程度

宿 泊：貸別荘（食事は自炊します）

申し込みは：E-mailまたはクイズ解答用紙をご利用下さい

問い合わせ先：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

企 画：名大生協教職員委員会



笠木透とともに過ごす平和憲章の夕べ

～平和・学問の自由と私たちの未来～

名古屋大学平和憲章が制定されてはや17年。しかし、4月1日から始まる「国立大学法人化」は「学問の自由」を大学から奪うと、多くの大学関係者や知識人が懸念しています。

憲法や教育基本法の改定が選挙公約に踊り、自衛隊がイラクに派遣されようとしている今、私たちの目指している平和とは何かが鋭く問われています。

私たちは、今の様なときこそ「大学の教育研究が時の権力や権威に歪められてはならない」とした「平和憲章」の精神を思い出し、この難局に立ち向かいたいと考えています。

2月5日、平和憲章制定記念日に笠木透さんをお招きし、平和と日本の将来を共に考える音楽の夕べを催すこととなりました。

笠木透さんのうたごえは、きっと、私たちに未来への希望と勇気を与えてくれるでしょう。

日時：2004年2月5日（木）18時開演

会場：フレンドリィ南部（アメニティハウス1F）

第1部

18:00～職員合唱団のステージ

みんなで歌を覚えよう：「私のこどもたちへ」など
七つの子、通りゃんせ、オリジナル曲、シャンテなど

18:30～スピーチ

国立大学法人化と平和憲章（植田職組委員長）

（休憩）

第2部

19:00～**笠木透onステージ**

この中で、第1部で覚えた歌と一緒に歌います

参加費：500円（軽食代）

チケット購入は：主催の各団体で取り扱っています

参加の申し込み：クイズの解答用紙からもできます

問い合わせ先：名古屋大学職員組合（052-789-4913）

名大生協教職員委員会(kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp)

主催：名古屋大学平和憲章委員会（参加団体：全学会、院生協議会、名古屋大学職員組合、名大生協理事会、名大生協労組）

「無言館」を後にして、長野自動車道・豊科ICより車で約40分で長野県大町市大字平の民宿やまなか館に到着。北アルプスの連峰を背負った宿の灯りが、歓迎しているかのように親しい色だ。宿の空には、北アルプス名峰群を低くして、星が匂うばかりに澄んでいた。

新蕎麦の宿の灯りや笑い声

元彦

腹

時計は、7時頃になっていた。「信州の名産の『そば』今年取れた新そばをもちいてのそば打ち体験プランです。では、早速、新そばを使つてのそば打ち体験を開催しましょう」。年格好は50代前半かと思われる女将のハッキリした挨拶があり、参加者10人が手を净めて、女将を取り囲む。女将の前には、約110cm×120cmのホオの延ばし板がある。のし板には、今夜の材料となる、そば粉、つなぎとして、小麦粉、熱湯の入ったポット、こね鉢、計量カップ等が置いてあった。

最初は、女将が、説明しながら手本をみせる。

安曇野ちひろ美術館訪問ツアー報告その二

文 矢田元彦（難処理人工物研究センター）

民宿でそば打ち体験記

「まず、4人分として、今夜はそば粉400gに対して、つなぎとして小麦粉100g、熱湯200cc使います。「水回し」の準備からします。

大きめのボウル（こね鉢）に、そば粉400gを入れ真ん中に山をつくり、てっぺんに穴をあけます。つぎに、『水入れ』をします。てっぺんの穴に、あらかじめ計量カップに用意した湯の3分の2を入れ終わつたところで指を立て、手のひらに粉がつかないように、すばやく粉全体に湯を均一に回します。つぎに、ボウルの中で、両手をS字に大きく素早く動かして、そば粉全体に水分が行き渡るようにします。乾いた粉がなくなつたら、今度は両手の平でZ字に大きく素早く動かして、こま粒、小豆、甘納豆大とだんだん大きくなっていく

でしょう。残りの湯を入れ終わつたら、両手の平で、あまり力を入れずにボウルの底にこすりつけながら、全体が同じ色になるまで混ぜ、一つまみ握りしめ固さを確認します。ふんわりと手応えがあるでしょう。これで十分です」。

新そばの香り豊かに水回し

元彦

「次

は『くくり』の作業をしますよ。湯を含んで次第に大きくなってきた甘納豆状の粒を、『くくって』一つにし、そば球を作ります。見えますか」。

「今度は、両手を交合に前へ押し出しながら、粒をボウルの底に押しつけ、拾い集め向こう側まで行きます。行き着いたら左右のこぼれている粒をぬぐい取りながら手前に引きます。上か

そばはやっぱり打ち立て茹で立てだね

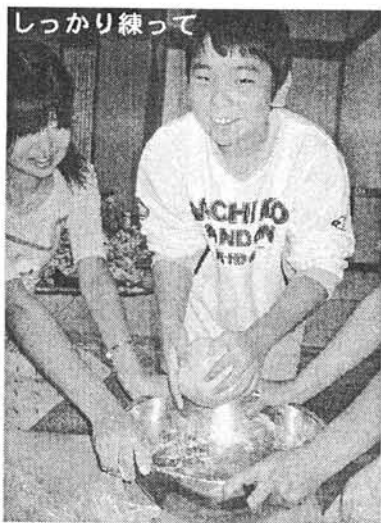


ら押しつけるのではなく、前の方へ押し伸ばすようにしながらまとめてゆくよ。両手の中で二つの大きな固まりにします。この『くくり』が終わつた時は、ボウルの中は、こんなに美しく、磨いたように光っているでしょう。二つの固まりを一つにすると、光り輝く玉になる。心は喜びに弾んだ。

新そばの玉は豊かに輝けり

元彦

ぎは、『練り』をします。さきの『くくり』によつてできたそば玉は、小さ



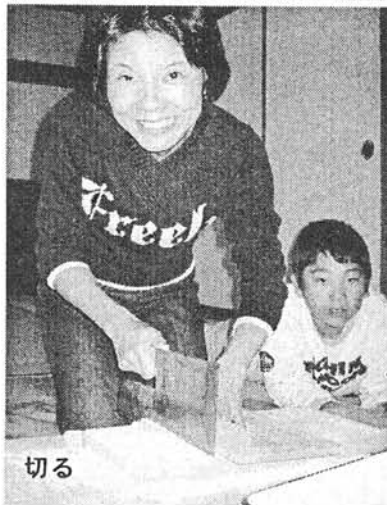
しっかり練って



麺棒を使って



丸く延ばして



切る

な粒の集合体なので、中には空気が多く含まれているので、この空気を抜き、そば粉に水分をしつかりと吸収させのが練りの目的です。ポウルの中のそば玉を立てて折り込む作業を、モチモチした感触の固さになるまで20回程度繰り返し、表面の『ざらざら』が、次第に餅肌のように『つるつる』になったでしょう。そば玉に左手を添えて左回転させながら、右手の掌で押し込んでゆき中の空気を抜きます。家庭的な雰囲気指導する、女将の手さばきに見とれます。

「次は『手延ばし』に入ります。鏡餅のようになった蕎麦玉の固まりを、ポウルから『延ばし板』の上に取り出して、掌で直径約30cmの大きさになるまで厚

さを均等に延ばします。右手の掌は、生地縁の手前で止め、縁はつぶさないで、あつ、つぶさないで。生地は乾きやすいから、素早くやるのよ（子供たちも参加して指導を受ける。やさしい指導の中にも厳しい声かとぶ）。つぎは、『丸延ばし』を紹介し、良く見て。

手

延ばした生地に打ち粉をふって、粉を軽くならします。左手で生地の円盤を少しづつ回転させながら、右手の掌で、柔らかくつぶしていきます。ここから90cmの麺棒を使って、生地を延ばし板いっぱいになるまで均等の厚さに延ばします。

では、『畳む』ことにしましょう。生地に多めに打ち粉をふって、粉を軽くならします。

麺

棒に生地を半分巻き取り九十度回転させて、巻いた生地を少しずつほどきながら、二つ折にします。そこで、生地に打ち粉を多めにふって、粉を軽くならします。生地の手前10cmほどに、麺棒を置き生地を麺棒にかぶせ、生地を持ち上げ一気に二つ折にします。同じ作業を繰り返して、さらに、生地を二つ折りにします。この時、大切なことは、生地の上下の幅が、そば切り包丁の幅より小さいことを確認することですね（笑う）。

では、最後にできたそばを切りましょう。

そば切り包丁の使い方は、中指・薬指・小指をまるめ、柄の奥まできちんと手を入れます。人差し指は伸ばして包丁の側面を

食

支えます。包丁が切り板に落ちたら、包丁を少し左に倒して小間板をずらします。このずらした幅が、そのまま麺の太さになります。のどこしを覚えて、出来るだけ細く切りましょう。包丁は垂直に立て、包丁の重さを利用して、手前からやや先に押し出すように切ります。ストンストンと包丁が、切り板をはつきり打つ音がするように、リズムカルに切り進みます。この調子で、うまい、うまい。（子供たちも大人たちも真剣な目つきで切る）。

堂に移り、夕食のスタート。やがて、茹であがったそば、ネギ、ワサビとそばつゆが運ばれてくる。一段と食卓は賑やかに盛り上がったことは言うまでもありません。

COOP 細江みかん産地見学記

農薬を半分以下に減らした 安心で美味しいみかんをお届けしたい がCOOPみかん生産者の願いです

糖度の高い「石川みかん」
は美味しく貯蔵が利く

11月22日(土)、冬晴れて、さざ波きらめく遠州・奥浜名湖。蜜柑と蜜柑との間に、遠くのさざ波は楽を演奏する穏やかな日和である。参加者は、生協組合員とその家族9人。案内人は、細江農産物供給センター長の山田学さんである。最初に訪れた場所は、湖畔を駆け上がった南の斜面に、「石川みかん」と呼ばれている蜜柑畑があった。ゴワゴワした男性的な不器用な蜜柑である。

「見栄えはよくないが、糖度が高く味もよい在来です。未来に残しておきたい蜜柑です。この蜜柑は、貯蔵が利く物ですから『冷凍みかん』に回しています。山田さんに勧められた一行は、「石川みかん」をもぐ。思い思いに試食する。「味が濃い！フクロが固いね」と言いつつ、さらに2、3個もぐ(私も、うまい！と思う)。山田さんが言った。「このフクロは特に固いけれど、フクロのまま食べれば食物繊維の摂取も簡単にできる最高の果物ですよ(笑う)」。つぎは、小高い

山の上にある、みかん畑を目指す。途中に、青いレモン、ミカンの青島、中生、さらにネーブル、正月の飾り付けにも用いる橙(先祖代々、栄えますように！合掌)、キンカンの小粒の黄色、そして残り少なくなった『すだち』の実る山畑を見ながら上る。台地には太陽を浴びて、早生の蜜柑が豊かに、たくさん実って旨そうだ(早く食べたいな)。

ミカンは収穫まで30年かかる
「ミカンを採るなら、南側の胸の当たりがいいですよ。収穫ですか、成るまでは30年は掛かりますね。最初の10年は、実をつけさせません。家庭で蜜柑を植える場合でも、南側の場所です。水の良い所を選びますね。実生からは、育てません。『カラタチの木に接ぎ木します』。酸味があ



安心できるみかんをお届けしたいと熱く語る
山田学細江農産物供給センター長



農薬の使用を如何に減らして安心・安全なミカンを生産するかの苦勞話を聞く参加者

ると、味が濃く成ります。私たち生産者たちは、『安心で美味しいミカンをお届けしたいと心より願っています(それでか、細江のみかんの段ボールには、『まごころ直送便・奥浜名湖・みかん』と

明記しているんか。解ってガツテン!。われわれは、さっき『石川みかん』を見てきたように、見た目ではなく中身にこだわっています。こだわり続けて、もう30年になりました。細江農産物供

給センターを結成したのも、今から約30年前のこと。以来、農薬の使用は一般栽培の半分以下に抑え、防腐剤・ワックスなど、みかんをきれいにみせるための薬剤も使用していません(拍手!人間も化粧よりも中身にこだわって欲しと、いつて言っているのは、見栄えのしない男の私です)。その代わりに有機質肥料を研究して土作りを大切にしています。手作業での草刈りなどは、手間暇を掛けてやっています。それで、安心、安全なミカンが誕生したんですね。その通り。糖度と酸度のバランスが良いコクのあるミカンをめいぎん生協に、提供できるようにになりました。

中身にこだわった生協

ミカンは皮まで利用できます

『見栄えより、中身にこだわった産物』を、モットーから生まれました(細江のミカンは味は太陽が、ぎゅっとつまって濃い。僕は最高だな!!)。ミカンはなんと

いっばいに受けた果物ですね。加工品では味わえない素直なおいしさが魅力です。さらに、毛細血管を強化し血圧を下げる働きがあります。ミカンには健康パワーがぎゅっしり詰まっている健康食品です。しかも実よりも皮の方に、多くの栄養が含まれているので、(農薬の使用が少ないミカンなら)安心してマーマレードなどに利用できます。また、ミカンの皮も上手に活用してください。どんな利用方法がありますか?『よく洗って天日で乾かし、吸い物にいれたりしてはいかがですか。また、細かく刻んで袋に入れ、ゆぶねに浮かべれば体の芯から温まりますよ。さらに、灯油や漂白剤のついた手や、魚を調理した後の、あの生臭い臭いは皮でこすれば、たちどころに消えます(笑う。ほんとうかいな!)。山田さんの説明を聞きながら、質問しながら和やかに、安心育ち、細江みかんの産地見学は終わった。

地下鉄開通記念北部生協まつり 教職員委員会企画報告

第30回生協まつり献血結果

102名のご協力ありがとうございました。

受付段階でお断りした方が30名と今年が多かったです。理由は薬の服用中などによるものです。名大生の場合が81%と多いのが特徴です。2日間で102名のご協力をいただきました。

献血結果	受付者数	献 血 者		
		200ml	400ml	200ml 換算
12月3日	70	11	42	95
12月4日	62	8	41	90
計	132	19	83	185

映画上映会

「マイノリティー・レポート」に 12名参加

まつりをお店で盛り上げようとトム・クルーズの今年の話作を夜の営業のないゆ〜どんで上映しました。

赤ちょうちん

12月4日(木)午後5時30分開店の赤ちょうちんをゆ〜どんで開催。参加者は26名と少なかったです。チケット販売が進まなかったことが大きく影響しました。赤ちょうちんも冬のまつりの定番となり、和気あいあいと楽しんでいただきました。年一日だけではなくもっとやってほしいという声も聞かれました。どうもありがとうございました。

Fエース産直リンゴは21箱販売

めいきん生協と産消提携している長野県松川の省農薬Fエースリンゴの産直販売は予定数21箱を3.5日間で完売しました。

販売収益11680円はユニセフに募金しました

第16回音としゃべりの金曜サロン 「初冬のホットジャズコンサート」 に46名参加

12月5日(金)午後6時からフレンドリー南部食堂ホールを利用したのジャズコンサートを開催。やはり生はいいですね。

映画「マイノリティー・レポート」 参加者の感想

参加者は延べ12人位。

最後までいた参加者の感想

①この企画をなんで知りましたか

かけはし(1)、ピラ(1)、その他(4)(たまたま、通りすがり、会場入口のポスター)

②参加の動機は

映画好き(2)、作品に惹かれて(3)、その他(2)(もう一度観てみたい映画だった)

③作品について

物語的にも映像的にも良かった。(工)
実にスピルバーグらしい(池田)

近未来のSFは面白い(工)

原作と全く別物なのにあきれる(川真田健一)

未来映像がおもしろかった(無記名)

やっぱりSF最高!トリックは映画と違うけどこれの原作もすばらしいトリックですよ。(みつを)

④次回の希望作品や委員会に一言

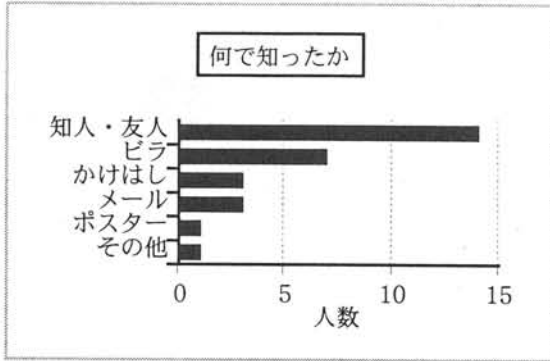
SFがいいです(工)
ホラー(工)

ソラリス(川真田健一)

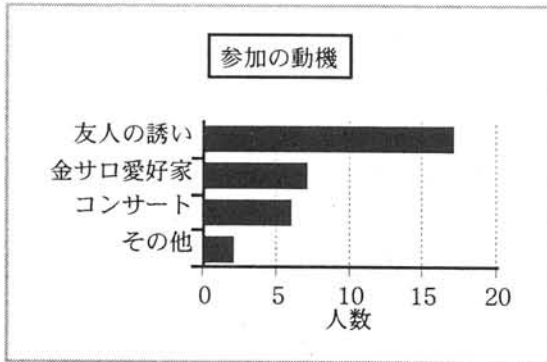
アンドロリユニNDERが面白いですよ。
SF最高!(みつを)

第16回音としゃべりの金曜サロン「ホット・ジャズ・コンサート」感想(30人分)

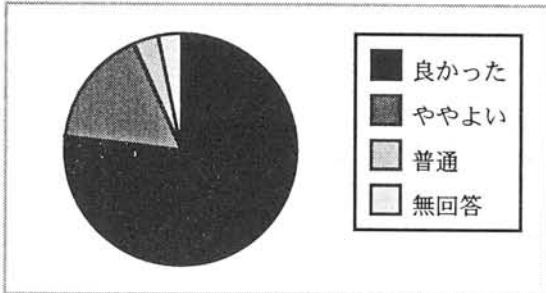
1. 企画を何で知ったか



2. 参加の動機は



3. コンサートについて



○こんなメンバーでやっていただいて幸せです。1曲目が大好きなディブ・ブルーベックの曲だったのでうれしかったです。

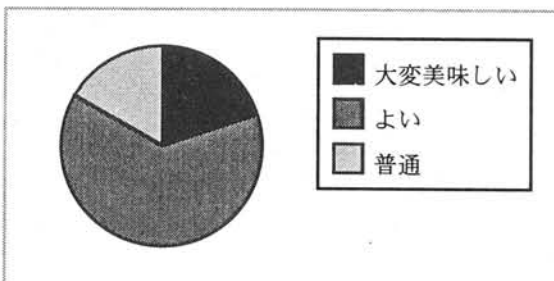
○ジャズも好きになりました

○初めての生コンサートを聞いて、とても良かったです。自然に体が動いてしまいました。

・場所が寒い

・会場が寒かったです。

4. 料理について



○もう少し温かい物があればベスト。

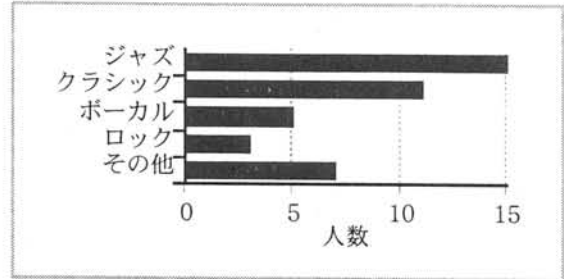
○お弁当って正解ですね。美味しかったです。もう少し温かいものがあると良かったです。

○お弁当も良いですが、サンドイッチやおにぎり等食べやすいものを望みます。

○美味しかったです。天ぷらに何をつけたらよいでしょうか？

・JAZZにはあってない

5. 次回の希望



他：室内楽(1)、イージーリスニング的なスタンダードなポピュラー(1)、ラテン音楽(1)、和楽器(1)、ボサノバ(1)、三味線八十助・小泉和裕(1)、何でも良い(1)

6. 金曜サロンや教職員委員会に一言

・スポットライトはいらなと思います。

・お疲れさまでした。

・次回も期待しています。

・ライトの動きがヘタ。

・またやってください。

・充分楽しませていただきました。

・これからも続けてください。

・エレピ(電子ピアノ)はこちらで用意しましたか？ 強弱がえらく気を使われていましたが。なるべくボリュームを触らないで強弱の差がハッキリとつけられるものがないです。

・初めて参加しましたが、リフレッシュでき大変良かったです。

・企画、準備お疲れさまでした。大人のサロンですね。

・とっても良心的。

・今年は場所が悪く残念でした。来年は早く花の木を予約してください。

・いつもお疲れさまです。ありがとうございました。

・ミュージシャンを呼んでLIVEを企画するのはとても大変なことです。企画していただいてありがとうございます。

・ごくろうさまです。いつも。又、ぜひお誘いください。

・久しぶりに参加しました。教職員委員会の活動に敬意を評します。

新フィールド・ノート — その80 —

雑 内

名古屋大学情報科学研究科 広木詔三

最近、これまでまったく関心のなかつた現代アートに興味を湧いた。そして、図書館から一冊の本を借りた。その本の口絵には、ニューマン、ジャッド、クライン等の現代巨匠の作品がカラーで掲載されていた。最初、それらの形象は私に何の感慨も与えなかつた。美術館の学芸員たちが書いてある解説を読むと、口絵の作品が違つて見えた。だが、言葉による情報だけでは、実際の印象は分らないものだ。

名古屋美術館に常設されているモディリアーニのおさげ髪の少女がどんな輝きをしているかは、どんなに言葉を費やしても、実際に一度もその絵を見たことのない人には伝わらない。それなのに言葉による作品、つまり小説がとてつもないリア

リティを示すことがあるのはどうしてなのだろう。

二〇〇三年の九月二十三日、秋分の日朝に、院生の山崎さんと私は名古屋空港を発つた。天候はあまりすぐれなかつた。機内では、このときがチャンスとばかり、彼女の研究の進行状況を尋ねた。彼女はDNA解析の仕事をしているのである。話に熱中しているとき、ふと気づくと、機体がひどく揺れている。かつて三宅島に通つたときに、小型機で揺れるのをしばしば経験していた。だが、こんな大型の旅客機がこれほど揺れるのは初めての経験だ。やがて機内放送で、大気が不安定なので機体が揺れるという説明があつた。機体が激しく揺れるたびに大きな不安に襲われる。

やがて、私たちの便は、無事千歳空港に到着した。昼食を済ませた後、さらに稚内（わつかない）へと向かう。今度は小型機である。空は次第に晴れ上がり、まもなく稚内に着く頃だ。幸いにも、窓から利尻島を見ることが出来た。

稚内空港からはレンタカーで宿まで直行する。いや、まだ時間にゆとりがあるので、せっかくだから、半島を一回りして、お目当てのものを探そう。もちろん山崎さんが運転する。半島の海岸部に出ると、それらしき矮生の森林が目に入る。車を降りて近づくと、風に吹き晒されて背丈の低くなったナラの林が厳然として存在する。いつでも研究材料との始めての出会いが感動を覚える。

モディリアーニとの出会いもそうだった。それまでゼザンヌばかりに肩入れしていた私は、あるきつかけでモディリアーニの絵の虜になつたのだつた。あのろくろつ首のような奇妙な人物像がまったく気にならなくなり、微妙な様々な色のハーモ

ニーが醸し出す色調に、えも言われぬ感覚が呼び覚まされるようになったのである。

ところで、目の前の押しひしがれたようなナラの樹は、ミズナラともモンゴリナラともつかない外部形態をしている。葉の形も個体ごとに変異が大きく、殻斗（クリのいがと同じ器官）にも変異が認められる。東海地方に分布しているモンゴリナラと呼ばれている集団とは明らかに異なる。山崎さんの研究テーマは、この東海地方のナラが大陸のモンゴリナラと同じ種であるか、それとも日本のミズナラ由来のものかを遺伝子解析に基づいて突きとめようというものである。道北にもモンゴリナラらしきものがあるという情報を得た。それで、それも比較の対象にしようと思つた。道北まで来たわけである。

稚内の小さな半島を回つて宿に着く。その建物はごちんまりしていて洒落ている。最果ての地に来たとはとても思えない。宿は稚内駅に近く、駅前の通りは短いアーケード街になつてい

る。人通りが少ないせいも、西部劇に出てくる町の雰囲気を感じる。店内がやけに豪華に見える大きなレコードショップがある。お客はまったくいない。夜には、近くの店に入り、タラバガ二なるものを注文した。

翌日は宗谷岬方面にサンプリングに向かう。左に海を見、右手に広大な原野を望みながら北米大陸をドライブしている気分になる。よほど強い風に見舞われるのである。背丈ほどの低いトドマツ林が現れる。例の矮生のナラ林がそれに連なる。やはり葉や殻斗の形に変異が大きい。大陸のモンゴリナラとミズナラとの雑種の可能性がある。

サンプリングが済むと、私たちは宗谷岬へと向かった。最北端の地は、さざ波の立つ青い海へと続いている。山崎さんが感激している。

海と反対側の丘を登ると、肉牛牧場という広大な草原に出会う。戦前、軍がソ連を監視した壊れかかった小さな建物が展望台になっている。また、海に背を向けて男女の像が立っている。広

大な草原とこれらの造形を目前にすると、タルコフスキーの映像の世界に入ったような感じにとらわれる。

私が現代アートの目を開いたきっかけは、昨年(二〇〇三年)わが名古屋大学キャンパス内でモダンアートの展覧会が開かれたことによる。情報科学研究科の茂登山清文先生の研究室の院生たちが企画し作品を出展したのである。

展覧会中に、偶然にもエレベーターで茂登山さんとぼつたり顔を合わせなかつたら、私は現代アートに関心をもつこともなかつただろう。

会場の一つである留学生センターへ行ってみると、ロビーやラウンジを利用して少々変わった造形物が配置されていた。山下香織さんの作品は衝立に映像を映したもので、右手には裸の人体が、そして左手には人体の骨格が二つずつ対になって映し出されている。じつと見ていると、見えない球体のようなものが体内で移動しながら骨を運動させている。何を意味している

のか聞いてみたら、自由に見て下さい、と言われてしまった。

もう一人の藤下麻香さんの作品は、壁全体に人が行き来している光景が映し出されている。皆かなり急ぎ足で歩いている。何倍かの高速で映しているということだった。さらに説明を聞くと、新宿の街で撮影したもので、その中にゆつくりと歩いている人も居ると言う。なるほどよく見ると区別がつく。壁のカーテンの一部に人の手があり、そこからカーテンの隙き間を除くと、壁と思つたのはガラスでその向こうには小さな空間があつて、そこには裸の人体像が配置されていた。静かで不思議な空間が存在していた。

聞けば、彼女たち二人は芸大出身で、彼女たちのアルバムには、たくさんの作品が収められていた。それを見ているうちに、私は思ひだした。私の娘の通っていた名古屋造形短大の卒業制作展を見に行ったときのことを。そのときも様々な造形物があつたのだ。現在、娘は家から遠く離れたところにいる。

最近、名古屋大学前を開通したばかりの地下鉄を利用した。現代アートの刺激を受けたせいも、それとも開通した地下鉄構内が真新しいせいも、コンクリートや敷石の模様がやけに目に入った。最近、バスに乗っても通りを歩いても、不思議な感覚にとらわれる。夜のバスの車内の明かりが車内の空間をまるで絵のように感じさせる。

現代アートは訴える。既成の芸術的観念を打破せよと。永劫普遍的芸術は存在しない、その時代の芸術があるのだと。それでも私は、ゴーギャンの絵を感じ動かしでは見ることは出来ない。

二泊三日の採集を終え、稚内空港でレンタカーを返し、千歳空港で山崎さんと別れた。私は植物学会での発表のため札幌に向かう。道北ではあまり晴天には恵まれないという話が嘘のように、稚内では三日間とも晴れわたった。ところが今現在、千歳空港から札幌へ向かう列車は薄ら寒い曇り空の中を走り、横なぐりの雨まで降ってくるではないか。

— 私 の 百 名 山 —

トムラウシ山(2141m)その2

中條 保 (農学部)

先月号から

2002年の9月中旬、北海道での所用を利用してトムラウシ山と十勝岳の縦走に挑んだ。第一日目に山麓の天人峽を見下ろす樹林帯の中でテントでの一夜をあかし、山での2泊目をトムラウシ山頂の南、南沼キャンプ指定地で幕営の予定だった。迫る夕暮れと厚い霧に覆われ、トムラウシ山の山頂は巨岩の群で鬼気迫る様相である。詳しくは本誌250号(2003年11・12月号)を参照してください。

南沼テント場間近

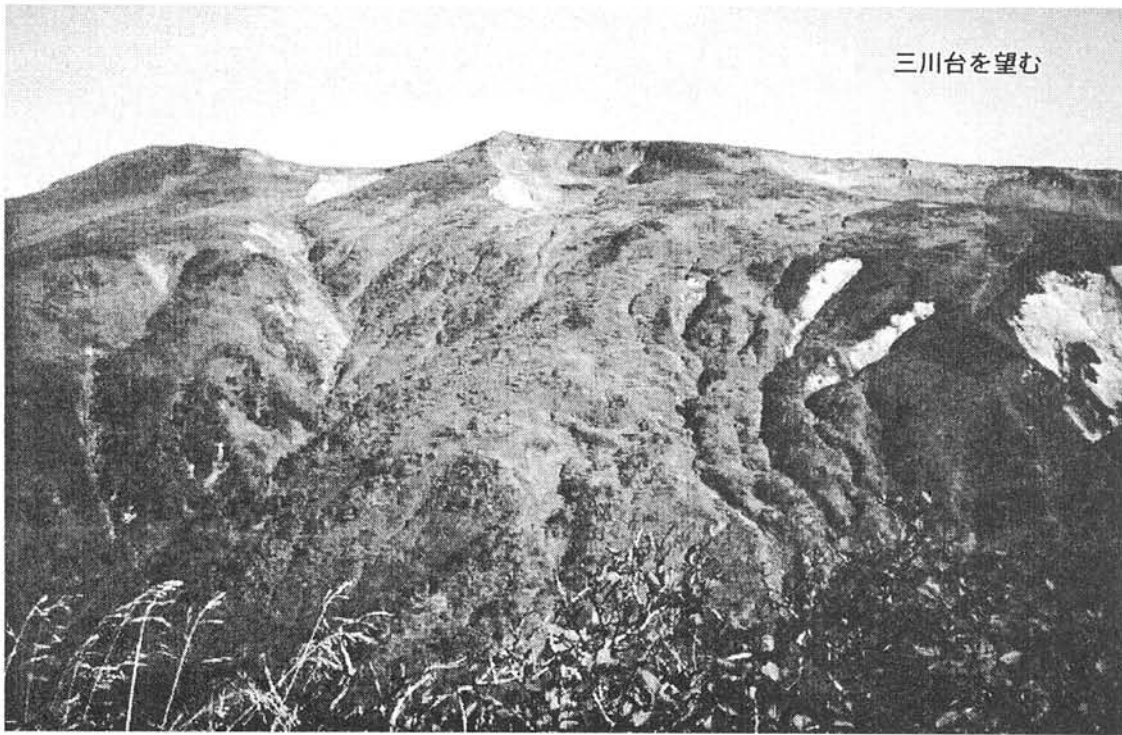
16時05分、山頂を後にしてテント場に急ぐも岩肌は踏み跡が明瞭ではない。たちまちルートを見失う。南沼キャンプ指定地がよくわからない。北沼に戻るのを嫌い近道を取ったため道が無くなった。霧の晴れるのを数分待つと北沼から山頂を踏まないうで南沼方面へのルートが見えたので岩伝いにまっすぐ下山する。16時35分、乾いた沼らしき辺りで地図を広げて幕営地を確認する。その時点では、わずか300

mほど先に有るのがわからないのである。地図を確認してさらに先に進むことにする。不安に成りつつもすすむこと10分でテント場が見えてきた。数えるところも13張りもある。さきほどの霧も晴れて、すぐ北側にトムラウシのゴツゴツした岩山が山頂へ迫っていて、テント場から山頂へ出かける人、降りてくる人、ま

た、トムラウシ温泉方面から登ってくる人もいた。
テント設営完了
17時05分、3張、張つてある北西のコーナーの岩陰に張る。周囲を石で押さえて風対策を万全にする。軽量のゴアテントは、数分で設営が可能だ。夕食は強風と寒さ、夕闇が迫るのでテン



三川台を望む



トの中でラーメンに卵スープとトウモロコシの缶詰を入れたメニューである。水が貴重品なの

で食後の食器はペーパーでふき取る。17時30分夕食完了。18時ちょうどにラジオを聞きながら早めにシユラーフ

に入る。寒さ対策にアンダータイツにズボンと毛糸の靴下を着けて大型ザックに足を入れる。上もアンダーウェア、純毛の長袖ジャージ、ウインドブレーカー、床に雨具用の上着を敷く。耳元にはラジオ、時計、めがね、飲料水、そしてヘッドランプが置いてある。目を閉じると両隣のテントからいきなりいびきである。長らく酒盛りをしていたので気にはなっていたのだが、困ったものだ。凍死者もでる山での緊張感を欠く酒盛りはやめてほしい。無理しても三川台方

面に行き、一人で張るべきだったと悔やむことしきりだった。加えて、夜半に熊騒動である。女性テントから「熊がテントをたいた」とか、「野菜くずを持つて行かれた」とか。男性グループは「残りの料理を鍋ごと出して置いた」とか。大騒ぎである。風が強くテントを打ち、外に置いた物も飛ばされたのではないだろうか。と私は思った。寒さといびきと、熊騒動で眠れたものではない。午前0時、トイレに起きると満天の星が頭上に降り注ぐ。北斗七星がトムラウシの左から旭岳方面にかかり、天の川と星明かりは山頂と稜線をくつきりと浮き上がらせている。

山の三日目

3時ちょうどに起床するも寒さで動けない。記録を整理しながら出発準備のバッキングに取りかかる。準備は整ったが、外は暗くて寒いのでテントの中でしばらく待機する。4時にヘッドランプを付けて外に出る。霜が降りてバリバリと音のする白くなったテントを撤収する。日の

出直前の4時30分テント場を後にする。南に20分ほど下ると小さな鞍部を越えたところに大きな火口湖のような沼があり、雪も残っていて水が豊富だ。これが南沼なのだ。荷物を置いて沼に降りて確かめると美しく透きとおっていて飲めそうである。1・5リットルの水を補給する。これで安心して今日の縦走に入れる。

三川台

6時15分「三川台」に到着。クワウンナイ川と美瑛川、ユウトムラウシ川の源流にあたるところからの命名か。稜線が緩やかなピークになって広い台地を形成している。左右に源流を望み、トムラウシから伸びる緩やかで大きな稜線が天人峡方面へと連続する「黄金が原」は北の大地だと思ふ。途中の路は霜が降りて、それが凍結してウラシマツツジの赤く紅葉した葉っぱを白く縁取りして美しい。霜柱の路の先行者は熊か鹿のようで不気味だ。大きな二つの爪痕が未だ新鮮で生々しい。鈴とラジオの音を大

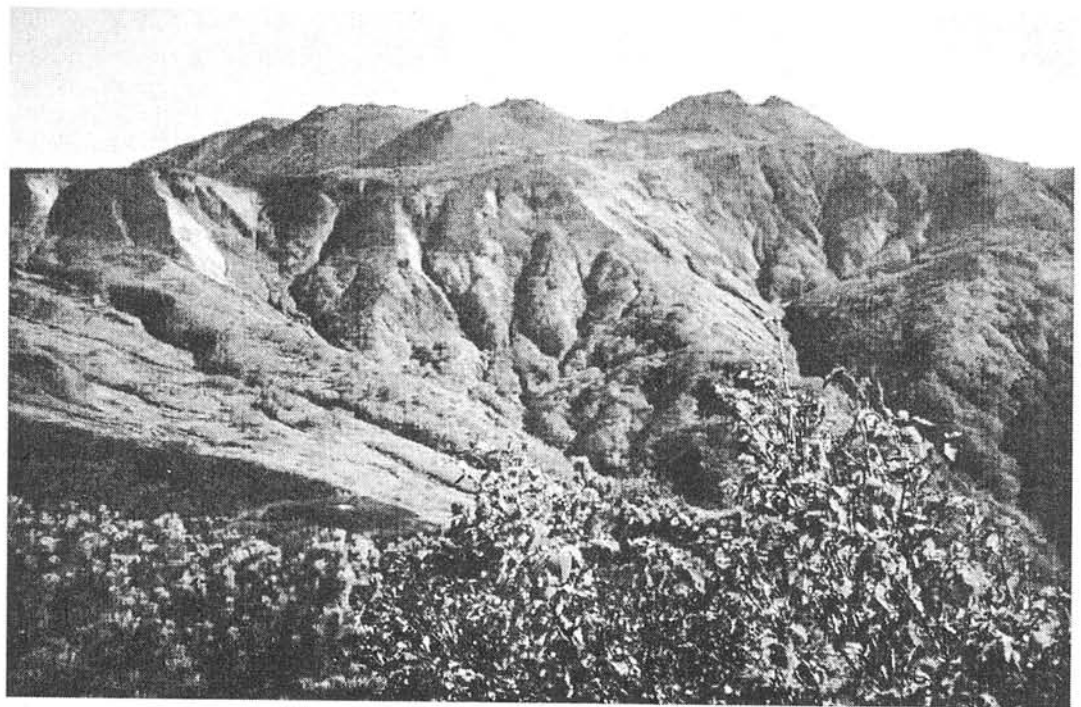
きくする。周囲を見渡し熊の気配を見渡せど動きはない。青いチシマギキヨウも美しい。「黄金が原」の草モミジと雄大な平原に白い霜が一面に紅葉にアクセントを加えてとても美しい。三川台の南は大きなカールでいくつもの池塘が朝日に光っている。クマザサや樹木も豊富で熊の樂園のようだ。ハイマツに囲まれた三川台でゆつくり15分の休憩。ポカリスエットがおいしい。

この日最初で最後の登山者

三川台を下りかけてまもなく3人のグループが登ってくる。中年男性1人と若い女性2人のグループ。昨夜、「南沼まで行けずにツリガネ山の麓で幕営」したとのこと。また、単独の男性が三川台の下で幕営し、先ほど(2時間ほど前か)オプタテシケ山に向かっているという。そういえば、三川台の下り道の右、左に3〜4張りほど幕営の余地があった。こちらの方がよく眠れたのにと悔やまれた。午前7時、これから登るツリガネ山方面を撮影する。

ツリガネ山での休憩

8時03分、先鋭なツリガネ山のピークは踏まない。その手前の稜線から鞍部を挟んで東に眺める位置にある。レーズンパン、羊羹、お茶で朝食とする。振り返るとトムラウシ山頂のカルデラが口を開けて聳えている。南のはるか前方にはオプタテシケの大きな三角錐が悠然と腰を据えている。25分出発。これから先は比較的緩やかな起伏で、背丈を覆うばかりのハイマツが両側から迫って、熊がでないかと気がでない。ラジオをならしながら、動物たちの世界にはいることをわびつつ歩く。9時15分、ハイマツの群生する日当たりの良い場所で休憩する。昨夜の寝不足が少し足が重い。お茶を飲み水分を補給する。25分出発。天気は快晴で少し暑く、夜との温度差が大きい。背丈ほどのハイマツが続く緩やかな稜線を行く。10時15分、小休止。イモカリントウとお茶で補給。水を使わずに歯磨きをする。30分出発。



左に三川台、右にトムラウシ山

双子池キャンプ指定地

オプタテシケを眼前に望む鞍部に双子池キャンプ指定地がある。ほぼ予定通りの11時52分に

到着する。クマザサに囲まれた池の脇のテントサイトで昼食にする。沼の水は泥炭層が縁取りをなし、美しく澄んでいるので

中央にオプタテシケ、向こうは十勝岳、富良野岳



お茶500ccを作り、水を1リットル補給する。その間にパックおこわを2個暖め、1個を昼食に、1個を非常用にこむ。おこわと鶏肉缶詰が昼食だ。デザートはミカン缶詰は贅沢だが甘くて

おいしい。喉が渴くのでお茶をたつぷりと飲む。誰一人として通過する人もなく、出会うことのない天上の樂園だ。時間的

な余裕があれば此処で一泊してゆきたいが、宮仕えの身なればそうもいってはおられない。静かな山奥の二つの池(双子池)を12時55分後にする。

オプタテシケへの登り

昼食後、鞍部の背丈を超すクマザサ地帯を抜けてオプタテシケ山に取り付く。大きな三角錐の登路は踏み跡のはっきりしない火山岩のごろごろした急登だ。かすかな石の減り具合を確認しながらひたすら登るのみ。アツブダウンの路よりも好き

オプタテシケ山頂



な登りだが、2時間30分の連続は半端ではない。昨夜の寝不足がこたえる。13時50分、双子池とクマザサの昼食地点が足下に見えるところで小休止。正面にトムラウシの山頂が見えるが、やがて雲に隠れる。右手(東)の空に阿寒岳を望む。やがて、雲が出てきて、風も加わり天気が悪心配だ。とにかく美瑛の避難小屋までは行かなければ。14時出

発。

オプタテシケ山山頂

14時55分、山頂直前で小休止。標高差500m、斜度50度近い急登にバテ気味である。一直線に双子池へ下る路が飛行機から見ているような高度感で、今にも転げ落ちそうな錯覚に襲われる。周囲は緑一面の原生林だ。はるか東の森の中に然別湖が太陽に

輝いて反射している。15時05分
出発。20分ほど歩いた28分過ぎ、
ついにオプタテシケ山山頂20
12mに到達した。トムラウシ
より30mほど低いだけで、大き
くそそり立つ三角錐の独立峰は
トムラウシより名峰ではないか
と思う。小さなピークを2つ越
えた山頂の木製標識は、手前か
ら確認することができた。山頂
の東側は大きく崩壊が進んでい
て危険だ。曇り空で寒くなって
きたので15時35分、早々に出発
する。

ベベツから石垣山へ

16時30分、小休止。今にも降
り出しそうに暗くなり、午前中
に見えていた美瑛岳や十勝岳は
望むべくもない。いつ雨が降っ
てもおかしくない天気だが、沈
着な行動が求められる。疲労を
蓄積することは正常な判断力を
も奪うことになるから1時間歩
けば10分休むというペースは極
力守りたい。40分に出発。トム
ラウシ以南の詳細な地図は持ち
合わせていない。百名山の2万
5千分の1地形図には、オプタ

テシケから十勝岳の手前の美瑛
岳辺りは空白になり、求めたが
入手できず大まかな稜線と山名
の入った簡略な地図しか持ち合
わせていなかった。山歴40年の
油断であるが、読者は絶対にし
ないでいただきたい。ベベツ、石
垣山を過ぎた辺りで17時20分小
休止。もう到着するかと思つて
歩いていたが、辺りは夕闇と霧
で視界は50mほどになつてし
まった。心細い地図のみが便り
である。30分に出発。

美瑛岳避難小屋

休憩した辺りから不安な気持
ちになつていた。このまま避難
小屋が見つからなければ幕営も
視野に入らなければならぬ。
「悪天での幕営はいやだな」と考
えながらも道は火山岩で赤い煉
瓦色の砂礫地帯に入つていた。
いくつもの小さなピークを登つ
ては下る、下つては登る。オプタ
テシケからは火山岩の飛び石伝
いの道が多くなる。周囲はガス
に包まれ視界が効かなくなつて
きた、その時、小屋へは「右折」
の標識が目に見え込んできた。

「ヤッター」と声を出しても誰に
も聞かれはしない。草原の中を
飛び石伝いに西に緩やかに下つ
てゆくと左手の山陰に避難小屋
を見る。17時50分に到着。先客
があり67歳の苦小牧からきたと
いう初老の登山者が一人いた。
清潔で広い一間だ。4間四方く
らいの広さだろうか。詰めれば
20人ほどが泊まれるだろう。早
速荷物をほどいて、今朝の霜で
ぬれたテントを干しながら、コ
ンロを点けてラーメンを作る。
寒いのでお茶も作つておく。

最終日の下山

午前4時起床。誰もいないと
思つていた山小屋に同宿者がい
て、気にしながら眠つていたの
でよくは眠れなかった。今日は
予定の飛行機にどうしても乗り
たいので、遅れるわけには行か
ない。外はガスと強風で見通し
が利かない。十勝岳への登山
コースを取るべきか迷いながら
もパッキングを完了する。午前
5時上下の雨具を着けて小屋を
出る。強風の中、弱い霧雨で視界
は20mほどだ。苦小牧の人は昨

日入山したが望岳台に下るとい
う。私は分岐に行つて天気眺め
で判断することにしてきた。30
分ほどで十勝岳への縦走路には
いるかどうかの判断が必要にな
つた。上川盆地の方は明るい
が、縦走路のピークは深い雲に
覆われ風が強い。私はピークへ
の路をやめて望岳台への路を採
る。

ポンピ沢で朝食

午前7時、ポンピ沢の豊かな
流れを渡つたところで昨夜暖め
て置いた赤飯とお茶の質素な朝
食にする。万が一のため水を1
リットル補給する。2人の青年
が登つてきて沢を渡つた向こう
岸で休憩して登つて行った。寒
いので25分に出発。途中、火山
流が堆積し、洪水で削られた断
面が10mもある涸沢を下つて降
りるところでは鎖とロープの世
話になる。足の届かぬようなか
なり厳しいアップダウンがあつ
たりで、晴天なら縦走路の方が
楽だと思つた。火山流が造つた
十勝岳の西斜面の途中に避難小
屋が見えてくると望岳台もその



望岳台

下に見えてくる。スキー場になるそのスロープは遮る物が何もないので強風で飛ばされそうだが、14人の重装備の1団が十勝岳山頂を目指して避難小屋に

入った。先行する黄色の雨具の単独者が下つてゆく。望岳台近くでは雨もかなり降ってきたが「赤平」からきたという中学生グループ30人ほどが4人の先生に

引率されて山頂を目指すと言うが装備は心許なく、帽子、手袋、雨具どれをとつても山頂に挑むには無理な装備だ。避難小屋まで行ければ満足して帰るだろうか。ジャージ、ズックで帽子のない子、手袋のない子もいて危

険ですら有る。引率する先生には「無理ですよ」と声はかけたが、絶対に行けないことがすぐにわかるだろう。

望岳台レストハウス

9時45分、望岳台レストハウスに到着し、ハウス脇の椅子に腰掛け15分の休憩を取る。前の駐車場には観光できた二人連れなど車が入れ替わりやってくるが10台と溜まらない。雨模様なので写真を撮って、すぐに立ち去る。寒さも加わり山頂もガスに覆われ見えないので長居ができないのである。私は今後の予定と、飛行機の時間を確認して、白金温泉への林道を歩くことにする。埋め戻して比較的新しいスキー場のような道は温泉を運ぶパイプの路なのだろう。途中何本かの温泉小屋(井戸)が白樺の中にあつたから。両側にはオミナエシがいっぱい咲いている。

美瑛町保養センター

11時05分、林道を1時間歩いて白金温泉に着いた。静かな温泉で、入浴可能な宿はないかと

訪ねると、バス通りに面して美瑛町の保養センターがあり、入ってもらおう。町民以外は300円だという。赤く濁ったいかに十勝岳の温泉という感じがする。日常では毎日入浴が可能であるが、4日ぶりの入浴は、何よりの慰労と休養に満ちた感動の一時である。着替えて飲む湯上がりビールがまた格別においしい。持ち歩いた山でのゴミを片づけ、荷物をパッキングし保養所前のバス停に急ぐ。13時05分発のバスで一緒に入浴を終えた地元の17人の老人グループと共に美瑛に向かう。良く整備された綺麗なJR美瑛駅から旭川空港行きバスに乗り替える。心配していた飛行機にも定刻20分ほど前に到着し、機上の人となり17時10分名古屋空港に到着する。

ニユリスに二喝!!

なんで自衛隊なのか

日本の安全保障という番組を少しだけ見ていた。今、政府は第二次世界大戦後ただの一度も海外の戦地に行ったことがなかった、言い換えれば、本当に戦争はしなかった、殺しも殺されもしなかったのを、今度は必ずしも安全でないのに派遣するという。国際協調ということはたいていの人に異論はない。ただ、日米協調となるとどうか。国際協調を隠れ蓑にアメリカに協力するためだという人もいる。自衛隊の派遣されるサマーワというところは安全だとも言う。それなら、何

故自衛隊でなければならぬか。結局安全とは言い切れないからに違いない。

興味深かったのは、自衛隊派遣積極論者が、将来日本をしょって立つ子供達が、世界から辱めを受けないため、胸を張って世界の中で生きていけるために、国際強調を目指して自衛隊を派遣しなければならぬと言っている。反対の立場の人も全く同じ理由で自衛隊を派遣すべきでないと言う。派遣する方は危険は少ないと言いつつ、反対する方は戦争をしに行くのだと言う。聞いていて我々にそれを判断する材料のないことに気

が付く。

やはり、十分な資料によって十分に説明し、納得させて欲しい。片づいてから、このこの行くのではみつももないという。しかし、自衛隊が戦争しないと云うなら、やはり安全でなければならぬし、安全なら何も自衛隊でなくていいということになる。

何かどっかにごまかしがある。どうしても行かなければ行けない理由は、結局突き詰めていけば「お金」、戦後復興に名を借りてそこでもうけさせてもらおう

という魂胆ではないか。ゲスの感ぐりか。

そういえば、戦争に反対していたのも、結局は利権のためということだ。全てが金か。そうかも知れない。テロだつて、ゲスっぽく言えば、結局はのけ者にされたので腹立ち紛れにやっているとみえる。大義名分はいくらでも付いてくる。

それでも、関係のない人まで犠牲にすることはなからう。どっちにも言いたいことだ。(田)

ツメで拾って 箕でこぼす

地球温暖化の影響はいろいろなところで起こっている。気候の不順がいつの間にか常態になってしまった。今年、南極のオ

ゾンホールは最大になったという。一時、縮小して努力の効果が出てきたのかと思つたのもつかの間のぬか喜びだつ

た。

ことは、世界中で大変な山火事が発生した。いっぞや、インドネシアで飛行機まで遭難した山火事もあった。この夏、カナダブリティッシュ・コロンビア州での山火事は、ロッキーマウンテンを越えて隣のアルバタ州まで灰が降った。アメリカカリフォルニア州の山火事もものすごかったことは覚えていても多かる。随分な人的・物的損害。さらに、地球規模の温暖化にも大変な影響がある。こういう山火事が大発生すること自体が、その影響で、まさに悪循環。そうでなければ、あれほどまでに成らずに自然に鎮火してしまうようなものが、歯止めが無くなつてああいふことになるのだそう。自然の山火事には、守りを活性化させる役割すらあると言いが、あんな規模では元も子もない。もつとひどいのがシベリアの山火事。永久凍土が溶け出して、その影響は計

り知れないという。詳しいことは、忘れてしまったが、こういう事を見聞きして、その原因を作っている人間の所行のむなしさを覚えた。エネルギー節減がひいては地球温暖化を食い止めるのに役立つと言われ、真面目な人々は一生懸命節電する。自動車の廃棄ガス規制にも応じる。自動車は、有害物質も出す。それを出来る限り少なくすることに異論のあるはずがない。しかし、ガソリン車の規制ばかりでは駄目。政府もやっとジーゼル車規制に重い腰を上げたが地域限定という不思議な物。自動車が、じつと停まっているならいい。そんなわけはないのだから、尻抜けだ。何故、こんなことをやるのか。ジーゼル車一台で、ガソリン車何百台、あるいは、何千台に匹敵するの、これも、不思議なこと。

山火事にはかなわないが、やはり、ツメで拾って箕でこぼすを実践している(田)

教職員委員会活動日誌 (2003年11・12月)

月日	事 項	場 所
11月 1日(土)	中山道ハイキング (参加申込無く中止)	
2~3日	安曇野いわさきちひろ美術館訪問ツアー	長野県上田市&北安曇郡
4日(火)	IBカフェ検討プロジェクト	ゆ〜どん
5日(水)	名古屋大学・生協懇談会	グリーンサロン東山
10日(月)	11月度常任理事会	ゆ〜どん
12日(水)	11月度第1回教職員委員会	ゆ〜どん
14日(金)	経営改革プロジェクト	ゆ〜どん
17日(月)	11月度理事会	フレンドリイ南部食堂
18日(火)	東海事業連合との中期計画についての話し合い	ゆ〜どん
22日(土)	生協みかんの産地見学	静岡県引佐郡細江町
26日(水)	激甚災害プロジェクト	ゆ〜どん
26日(水)	11月度第2回教職員委員会	ゆ〜どん
27日(木)	平和憲章委員会	名大職組会議室
29日(土)	東海地域センター「秋の教職員交流セミナー」	サイプレスホテル名古屋
12月 2日(火)	IBカフェ検討プロジェクト	ゆ〜どん
2~5日	北部生協まつり	北部厚生会館及び周辺
	2日~産直リンゴの販売、3・4日献血助け合い活動	
	3日映画「マイノリティ・リポート」上映会	
	4日語らいと交流の夕べ「赤ちょうちん」	
5日(金)	第16回音としゃべりの金曜サロン 『初冬のホット・ジャズ・コンサート』	フレンドリイ南部食堂
8日(月)	平和憲章17周年記念企画委員会	名大職組会議室
8日(月)	12月度常任理事会	ゆ〜どん
9日(火)	生協労組との会見	ゆ〜どん
10日(水)	12月度第1回教職員委員会	ゆ〜どん
11日(木)	食堂懇談会 (院生委員会主催)	ゆ〜どん
15日(月)	12月度理事会	フレンドリイ南部食堂
20・21日	大学生協連全国総会	幕張メッセ
22日(月)	平和憲章17周年記念企画委員会	名大職組会議室
24日(水)	医学部カフェショップ運営検討プロジェクト	医学部

イルミネーション

最近イルミネーションが大はやり。年末には、家庭でも、動物の形をした光の影が、庭に輝いていたり、ペランダでは、明滅して美しい光景を見せている。大々的に宣伝して、光のアーケードを造ったり、幻の建物を現出したりして、暮れの町を賑わしている。そのために交通渋滞さえ起こっている。昼見れば何の事はない。夜になると俄然魅力を発散する。イルミネーションはイリュージョン、幻想だ。

ふと思った。今に思いついたことではないけれども、あの、無数の豆電球を点された木はどんな気分だろうか。ゆつくりと眠ろうと思つているところを無理矢理起こされているのではないだろうか。葉を落とした木はまだいいかも知れない。葉のある常緑樹は寝不足にならないだろうか。

我々の子供の頃、ネオンサインと言った。イルミネーションというのは何となく古くさい気がしたが、

最近、逆転した。ネオンサインには、当時楽しいものがあった。名古屋駅前には、大きなビルもなかった。二階建ての建物の屋上に子供にとつても楽しいのがあった。大きなビールのジョッキを持った小父さんが、ビールを飲む。するとほんのり赤くなる。もつと呑む。もつと赤くなる。そうして遂に真っ赤かになる。そういうことの繰り返しだが、飽かずに眺めたものだ。時計の広告も面白かった。当時、時計は貴重品。どういうのか忘れたけれど、その、広告塔のあとが、今は、小さな、金券ショップになつているのは何ともわびしい。

暮れの街を散歩した。大晦日、夕方、もう人通りも少なくなつた。街に、イルミネーションが所在なげに、明滅している。賑やかな音楽とは裏腹に、閑散とした街、昨今の世相を反映しているようであらう。さびしくも、もの悲しい。

このイルミネーション現象は、何か世相を反映しているように思える。どこそこでは、何万個の

電球、又、他では、何十万個の電球と、一時の節電の時とは大変わりだ。結句、幻想を追いかけているのだ。そういうえば、法華経にも化城論品という巻に、疲れて本来の目的から退こうとする人々を化城(幻の城)を現じて安堵させ、再び目的に向かわせるといふことがある。一つの方便だ。人々が、現実で生えられぬ夢をつかの間、感じさせるための手段がイルミネーションなのだろうか。(T)

時差

一日の内に三つの時間を経験した。日本を8月19日午後1時に出発、デトロイトに同日午前11時30分到着、ミネアポリスに午後2時30分、カルガリーに午後6時47分到着、これは全て現地時間。時間表だけ見れば、6時間弱で着いたことになる。実際には、カルガリーと日本の時差15時間、ミネアポリス14時間、デトロイトは13時間。かかった時間はなかなか面倒だが、日本からカルガリー19時間47分になる。

この8月19日は日本で13時間、移動に19時間47分そのあと5時間13分をカルガリーで過こ

したことになるので、結局38時間有ったということだ。

おまけに、殆ど昼の時間、食事は、日本で2回、機内で2回、もう一度夕食を食べた。今度、日本に帰るとき、この借りを返さなくてはならない。帰りは、ほとんど一日無くなつてしまったような気になる。東西の移動というのは変なものだ。永久に東に移動し続けているとどうなるのだろうか。

29日にモントリオールから帰る予定だった。ところが飛行機の遅れで一日延びてしまった。30日に安全を期してホテルを7時に出、一つ前の便でモントリオールを出発、デトロイト空港で5時間待ち。15時45分発、名古屋には、31日の18時25分着。結局、29日は一日フイにしたが、帰国には、自宅到着までに実質ほぼ25時間かかった。30日・31日が、現地で7時間、飛行機と空港で22時間25分、日本で、6時間35分。ということは、2日間が、36間しかなかったことになる。19日が、38時間有ったが、余分の14時間を足すと、まだ2時間多い。カルガリーからモントリオールに移動した日に、失った2時間だ。だから、結局、勘定は合う。(T)

名大生協



「かけはし」編集委員会行

.....山.....折.....り.....

○氏名 _____ 組合員証番号 _____

○所属 _____ 研究科 _____ 専攻・課 _____
学部 _____ 学科・掛 (教職員・院生)
センター _____

○連絡先 _____ 内線 _____

○誌上匿名希望の方はペンネーム _____

.....山.....折.....り.....

①平和憲章制定 17 周年記念コンサート【2月5日(木)】

②初心・初級スキー教室【2月20日(金)～22日(日)】

参加申込用紙

番号	氏名	所属	内線	年齢	組合員証番号

②は保険の関係で年齢が必要ですので必ず記入して下さい。

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 251 号

クイズのこたえ _____

☆ 今月号を
読んだ感想

☆ 記事にしてほしいこと。生協へのご意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOPクイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をもれなく記入してください。

11・12月号
の感想

インタビューが面白い

★初めてちゃんと読みました。伊藤図書館長のインタビュー、面白かったです。【よし】

図書館の端末を増やして

★中央図書館3階の端末パソコンがいつも満員で、欲しい本の検索ができません。2階に置いてある分を分けるとか、各階の端末をもっと増やすかしてほしいです。【マグネット】

学内に飲み屋は不要

★研究科長・部局長へのインタビューの中で、学内に飲むところ、いわゆる居酒屋みたいな所が必要という話がありました。私はそれについて反対です。大学という場合は、研究をする場、教育をする・受ける場であり、真剣勝負の場所であるべきだと思います。それ以外の施設は学内から極力排除すべきです。真剣勝負

の場所とリラックスする場所は、明確に区別した方が良いと思います。【JJJ】

みかん狩りに行きたかった。

11/27 【星野滋幸】

ロジック簡単で物足りない

★ロジックの問題が簡単だったのでちょっと物足りなかつた。【まゆまゆ】

研究者の見た目に興味あり

★フィールドノート毎回楽しみですが、素人とは異なる研究者の目を見た『フィールド』に私は興味を覚えます。【赤塚保雄】

250号発行に歴史を感じる

★かけはしが250号まで続いたという事は、もう40年以上も発行され続けているということなのでしょう。歴史を感じます。【中村友昭】

▼かけはしは途中休刊もありましたが以前は毎月発行しておりました。創刊は1972年と聞きます。今年で33年目に入ったところです。【編集部】

意見と
通信

名城線沿線の特集を

★近々地下鉄名城線が名古屋大学前駅まで延伸されるので、名城線沿線の観光・見所を特集してください。【JJJ】

図書券下さい

★いつも読んでいます。いつも答えは出しています。図書券ください。【奥村健人】

温泉とコインランドリーを

★名大のちかくに温泉をつくらせて下さい。個室が欲しい。(3時間500円でインターネットができて布団もあるやつ)コインランドリーをつくらせてください。【星野滋幸】

防災展示館の企画が良かった

★アンケートがオンライン上から投稿出来るのはとてもよいと思います。これからも時々投稿をしたいと思えます。ゆ〜ど

んで行われていた防災展示館。初日に足を運んでみました。普段見られない地震計などが展示されていてとても興味深かったです。普段からの備え、そして「想像力」が大切だと感じました。とてもよい企画だったと思います。【Tara】

▼法人化50周年のパーティの際、松尾総長から「生協で防災に関わるネットワークを生かした取り組みやボランティア活動を進めることを検討してほしい」という言葉をいただきました。「防災展示館」は、全国でのさまざまな取り組みと並行ながら、名古屋大学内での「一つの取り組みの形」として防災週間にちなんで行ったイベントでした。今年から名古屋大学で発足した災害対策室のみなさんや、環境学研究科の大学院生・教官の方々にもいろいろ助けていただきました。大学全体でも防災に関わるさまざまな取り組みが始まっています。生協としても、持っている組織や情報、ネットワークを生かして、今後ともみなさまと協力しながらいろいろな取り組みを「創造」していきたいと思っています。【加藤理事室長】

CO-OP QUIZ

No. 251
2004年1・2月号

縦と横に書かれた数字にしたがって
マスをうめていくと絵(または文字)が
現れます。それは何でしょう。(ヒント
=時刻午後4時という意味もある。)



		1	1	1			1	1	1
		1	1	1			1	1	1
9	9	1	1	1	15	15	1	1	1

		2							
		2							
		2							
		12							
	2	2	2						
	2	2	2						
		12							
	2	2	2						
	2	2	2						
	2	2	2						
		12							
		2							
		2							
		2							

クイズが解けたらぜひ応募してく
ださい。クイズの嫌いな方は、ご意見だ
けでも歓迎します。

前回の正解は「Festa」でした。
解き方がまだわからない方は、解答の
絵の数字と黒マスの関係をよく見てく
ださい。

あなたもLogicの問題を創作(出題)し
てみませんか。問題の投稿も歓迎しま
す。てがきでもOK。採用の方には図書
券を進呈。

前回の 問題

				1			1		
		1	1	1	4	4	1	2	
10	1	1	1	7	1	1	0	2	1
		4					4	0	1
		1						9	1
		1						0	5
		1	3	3	3	3		1	7
3	1	1	1	1	1	1		1	1
	1	1	1	1	1	3			
	1	3	3	1	1	1			
	1	1	1	1	1	1			
1	1	1	1	1	1	1			
	1	3	3	2	4				

第250号の当選者

・応募総数 …… 8人

・正解者数 …… 8人

・当選者(敬称略)

古田真弓(理学部)

星野滋幸(理学部)

中村友昭(理学研究科)

吉永美香(環境学研究科)

赤塚保雄(情報連携基盤C)

以上の5人の方に図書券をお送
りします。

応募要項

○締め切りは2月15日

○発表は本誌、3・4月号

○正解者(但し、①組合員

②当選後ご加入も可、

③意見・感想記入者)の

中から、抽選で5人の

方に図書券をさしあげ

ます。

○生協への意見・要望をど
しどしお寄せ下さい。